

秋告げるイセエビ漁 徳島県南沿岸解禁 2017/9/21 09:54

いいね!

シェア8

0

チェック

G+

ツイート

県南部の沿岸で秋本番を告げるイセエビ漁が解禁となり、各漁協が活気づいている。漁期は来年5月14日まで。

牟岐町の沖合では20日未明、牟岐町漁協の組合員約40人が今季初水揚げ。前日仕掛けた網を船に引き上げると、150～250グラムの中型が多く掛かっていた。中には約1キロの大物も。取れたてのイセエビは牟岐町中村の漁協に次々と運び込まれ、職員が重さごとに仕分ける作業に汗を流した。

この日の漁獲高は約900キロ。京阪神の市場に出荷され、1キロ当たり4千～5千円で取引される。同漁協の昨季の水揚げは少なめの5・4トン。今季は例年並みの8トンを見込んでいる。

県内のイセエビ漁は毎年16日に解禁されるが、今年は台風18号の影響で各漁協が漁を遅らせていた。

【写真説明】牟岐町漁協で今季初めて水揚げされたイセエビ＝牟岐町中村

